

令和3年10月31日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム・ひなたぼっこえびすヶ丘

施設種類：認知症対応型共同生活介護

10月の運営推進会議は、コロナウイルス感染拡大防止の為、事前にホームの状況等を書面で送り、後日皆さんから意見を聞き運営推進会議開催に変えることにした。

【入居者状況】

入居者9名（女性 9名 男性 0名）

平均年齢 91歳 平均介護度 2.9

・退去・・・2名 ・入居・・・2名 ・入院・・・2名

【活動状況】

- ・ 散歩・日光浴・ドライブ・訪問カット
- ・ 計算ドリル・新聞折り・書写・雑巾縫い・ピアノ演奏・編み物
- ・ 塗り絵
- ・ ラジオ体操・オリジナル体操
- ・ 行事～おはぎ作り・茶話会・うどん会食・生け花教室
ドライブ・敬老会

【事故・ヒヤリハット・苦情】

- ・ 事故 3件（食物アレルギー・誤薬・入居者同士のトラブル）
体調面の異常はなかった
- ・ ヒヤリハット 3件（誤薬の危険・転倒の危険）

【その他】

*火災時の避難訓練実施

(指導内容)

- ・ 1階は介護度の高い方が多い為、毛布やシーツごと引っ張る。又入居者の後ろ側に回り、脇から手を入れ両手を組んだ部分を持ち引っ張ると良い。

- ・2階でトラッキング現象による火災を想定した訓練を次回は行う事にする。
- ・トラッキング現象による火災を防ぐため、日頃からコンセント関係の埃等がないか点検しておく。

* 身体拘束適正委員会

- ・身体拘束に繋がる行為についてチェック表を使用し職員全員で確認する。
拘束行為はなし
- ・センサー使用について勉強会を行う。



・現在歩行が不安定な方に夜間のみセンサーを使用している。職員が見守ったり介助する事で安全に歩行や排泄が出来るようにという目的で使用している。センサーが頻回に鳴った場合、動きを抑制したりする言動がある場合は拘束行為に繋がる事を知った上でセンサーを活用していく事、センサー使用方法を間違えない事を職員間で認識を統一した。

* 敬老会について

・敬老会は普段は地域の方が来所してくださり、踊り等披露してもらっていたが、コロナウイルスの影響で叶わない為、職員で余芸を行ったり、ホームで祝膳を作り食べてもらった。

(意見)

・緊急事態宣言は解除になったが、面会や行事の開催はすぐに元通りにはいかないが、行きつけの美容院等にいく事ができるようになると、入居者の方も気分も晴れるのではないのでしょうか。

・入居者同士のトラブルがあったという事ですが、久しぶりの入退去があり、顔ぶれが変わった事が影響しているのでしょうか。入退去があった時に特別気をつけていることがあれば教えて欲しい。



・顔ぶれが変わりお互い思いをストレートに言われトラブルに繋がる事がありました。状況をみて必要な状態の時には職員が介入するようにしています。

・高齢の方は相手の言っていることが聞こえづらい事から、トラブルに発展する事もあるので、職員が会話の仲介を行いコミュニケーションがとれるように配慮しています。